

第10回国際運輸交通セミナー (交通安全に関する INTRA セミナー)

第10回国際交通セミナーが交通安全をテーマとして1990年5月2日から4日にかけてフランス、パリ郊外にあるCRC(経営者研修センター)で開催された。このセミナーはINTRAグループによって1982年から原則として毎年1回交通問題に関して開催されているものである。

INTRAグループは1982年に国際機関の行政官、経済学者、技術者、大学や研究所の研究者などによって結成され、原則として毎年1回合宿形式のセミナーを開催してきた。このセミナーでは交通問題の中の特定のトピックスを取り上げ、陸海空のすべての交通手段に関する技術的、社会経済的、制度的な面から検討する。対象地域としては都市、地方部、開発国、開発途上国のすべてを取り扱う。今回のセミナーの目的は交通安全問題である。

本セミナーには、フランス、イギリス、オランダ、フィンランド、スイス、カナダ、日本、ソ連、ナイジェリア、スウェーデン、国連などから26人が出席し、このほかに9人が報告書提出やセミナーの準備に協力した。参加者の所属でみると、官公庁5人、大学9人、国際機関4人、コンサルタント4人、研究所2人、INTRA事務局2人という構成であった。

本セミナーではまず全体会議で交通安全問題に関する一般的概念の整理を行い、続いて安全性の経済的評価、労働者の立場からみた交通安全、カナダ・ナイジェリア・欧州各国・日本などの交通安全問題の事例報告や、交通機関選択と交通安全の関係、港湾における安全問題などについて研究報告がなされた。

次に、分科会方式で3分科会に別れ交通安全の規定要因とその影響について交通機関運営者、利用者、貨物輸送の観点からそれぞれ議論し、その後、2分科会に別れ、交通安全を確保することの意義とその基本的方策について交通手段ごとの事故安全性と運行管理の観点から議論した。最後に交通安全を確保するための方法とそれを実行する際の問題点について、技術および運営の観点、経済的および社会的な観点ならびに制度および管理の観点からそれぞれ議論した。これらの議論の結果、交通安全の内容の明確化が必要であり、異なる交通手段間、国間で安全性を比較することは難しいこと、人間の意識と技術の調和の必要性、適切な安全水準を検討することの必要性、交通安全を確保するための新技術の開発の必要性などが明らかになった。

本セミナーにおいて特に印象に残った事項をまとめると以下のとおりである。

(1) 交通安全には、運転中の偶発的な不都合の発生による事故に関する安全性と人の悪意による意図的な行為、ハイジャック、暴力やストライキなどにより正常な運行を中止させられることに対する安全性の2つを考える必要があること。

(2) 交通事故を減少させるためには、人々の安全に対する考え方や心理的な面を重視する必要があること。

(3) 欧州の自動車会社が協力し、各国の政府も補助金を出して自動車の安全運行システムの開発(プロメテウス計画)を進めている。これは道路上の信号、歩行者や他の自動車を自動的に認知し、運転者に運転上の指示その他を与えるというものである。

(4) 研究者、行政担当者、交通事業担当者などが一堂に会し、率直に1つの問題について合宿形式で話し合うことは相当の効果を生むと考えられる。

なお、次の第11回セミナーは交通に関する環境影響評価法というテーマで1991年4月22日から24日まで、今回と同じパリ郊外のCRCで開催される予定である。

本セミナーで発表された報告書の表題と報告者名は表-1のとおりである。

表-1

No.	報告書の表題	著者
1	Introductory Paper	INTRA(Silverleaf)
2	Discussion Paper	INTRA(Silverleaf)
3	Economic Assessment of Safety Measures	Dalvi
4	Economic Evaluation of Losses due to Transport Accidents	Quinet
5	Some Issues in Transportation Safety	Narain
6	Transport Safety and Security : the Workers' Viewpoint	Dunning
7	Transportation Safety in Canada	Gratwick
8	Transport Safety and Security in Nigeria	Madedor
9	Problems of Transport Safety and Security in the DRIVE Programme	Svidén
10	Ship Safety—the Memorandum of Understanding on Port State Control	Powrie
11	Effects of Services and Security on Choice of Transport	Kaartama
12	The Approach to Transport Safety in Japan	Kawakami
13	Road Safety in Africa : Background and Overview	Yerrell
14	Some General Comments	Yerrell
15	Civil Aviation Safety and Security	Forsberg
16	La Sécurité et la Sécurité des Transports Ferroviaires	Genton
17	Transport in the USSR : Passenger Transportation Security and Cargo Carriage Safety	Livshits

(河上省吾/Shogo KA WAKAMI・名古屋大学土木工学科教授)